



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

インスピレーションになろう

RI会長 バリー・ラシン

2570地区ガバナー 茂木 正

第3グループ
ガバナー補佐 細淵 克則

「想いを繋ぎ 地域と国の発展に奉仕する」

第2832例会 2018. 11. 28

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：東京電力パワーグリッド湘川越支社飯能事務所内 〒357-0021 飯能市双柳353-4

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@titan.ocn.ne.jp

天候 晴 (NO. 55-22)

会長 島田秀和 幹事 馬場正春

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大崎君、大野(泰)君

- ・点鐘 島田会長
- ・ソング 手に手つないで 四つのテスト
- ・卓話 木川一男会員

【会長報告】

残念ですが橋本茂パスト会長より退会届をお預かりしました(11/30付)。10月中旬に体調を崩され一昨日退院されたのですが、健康に自信が無いとの事で本日ご夫人とお見えになりました。「ご挨拶を」と申し上げたのですが「島田君分かってくれ」と言われて、皆さんに会わずに、私と幹事でお見送りさせて頂きました。皆さんによるしくとの事でした。

先週、事務局の引っ越しをお手伝い頂き、大変な荷物の量でしたが無事終わりました。高橋会員の「けやき野」に短時間でしたら、駐車させて頂けます。

22日、会長幹事会(入間)。IMは1/20ヘリテージ飯能に決定。全員出席でお願いします。点鐘14時。「(ガバナー)3年後は無理」とのパスト会長会議の結果をもって臨んだのですが承認頂けず。姉妹クラブの東清州(韓国)50周年(4/4)の件も含めて、本日パスト会長会議でご意見を伺いたいと思います。

【幹事報告】

12/5第7回理事会。飯能市青少年の主張大会協賛の御礼。引っ越しをお手伝い頂いた矢島(高)、神田(敬)、吉澤、中山、五十嵐会員、有難うございました。坐骨神経痛だとかコルセットしてるとか心臓にステントが2個入るとか、大丈夫かなと思ったのですが何とか完了しました。55年の歴史を感じさせる書類、9割は会長の倉庫に収めさせて頂きました。

- ・12月のロータリーレート 1ドル=112円

◎例会変更のお知らせ

◇所沢中央RC

- ・12/17(月) 振替休会 22日、家族同伴忘年会
- ・12/24(月) 例会取消(法定休日)
- ・12/31(月) 特別休会(定款8-1-C)

【委員会報告】

◎飯能商工会議所 会頭 矢島(巖)君

監事、副会頭と4名でお願いさせていただきます。お蔭さまで会議所は設計から引っ越しと順調に進み、これから重要な建設協賛の募集が始まります。当クラブには議員も大勢おられ、顧問には中里(昌)、新井(景)、沢辺、細田(吉)、神田(康)、吉田(武)会員がおられます。RCが中心となって資金集めをさせて頂ければと思っております。必ずや市民、「みんなのため」になりますので、温かいご支援をお願い申し上げます。

◎雑誌委員会 半田君

「ロータリーの友11月号」横組表紙は「一隅を照らす(人)」仏教用語だそうです。「照らす」だとおこがましい感じが致しますので、座右の銘として私は「一隅に灯る」という事で行っております。

【出席報告】無届欠席0

鈴木出席向上委員

会員数		当日		前々回修正	
全数	対象	出席数	出席率	出席率	
59名	6名	52名	88.14%	84.75%	

【M U】

11/20(入間南) 沢辺君 (日高) 田辺君

11/22(入間) 島田君、馬場君

11/24(地区) 中里(忠)君

11/27(日高) 前島君、半田君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・この度のケガに関しまして会よりお見舞いを頂きまして有難うございました。お蔭様で元気になりました。これからもよろしくお願ひ致します。大木君
- ・長い間大変お世話になり、有難うございました。橋本君
- ・木川先生、いつもお世話になります。本日卓話よろしくお願ひします。 間邊君、山川君
- ・家内の誕生祝ひ有難うございました。 平沼君

・結婚記念祝い有難うございました。 和泉君
・会議所会館建設協賛よろしく願い致します。矢島(嗣)君
・早退します。 吉島君、土屋(貞)君
本日計 35,000 円、累計額 406,001 円。
◎ 5 日例会当番は杉田、沢辺会員です。

【卓 話】

講師紹介 大附職業分類委員長
昨年度、第 3 グループのガバナー補佐。飯能靖和
病院をはじめ数多くの医療・介護施設を運営する靖
和グループ会長として大きく貢献されております。

飯能市の環境について

～はんのう市民環境会議 会長在職12年を振り返って～

飯能RC パスト会長 木川一男 会員

H 15 年 6 月、当時、沢辺市長の下に発足した「はんのう市民環境会議(愛称:エコネットはんのう)」(以下 ENH)の会長に H18 年 6 月着任、本年 6 月に退任致しました。現在は顧問です。ENH に入会して 14 年、第 2 代会長を 12 年。第 3 代の新会長には浅野氏が着任されています。

飯能市は人口 79,825 人。天覧山、多峯主山、伊豆ヶ岳、子ノ権現、棒ノ折山、飯能河原、吾妻峡、名栗湖等に年間 31 万人が訪れています。

私は大学卒業時に柔道 3 段(今は 6 段)で、柔道整復師を生業として 43 年。現在は 4 人の子が医者になった関係で、病院経営と、狭山・入間で特別養護老人ホームの経営に取り組んでおります。

「森林文化都市宣言」都市宣言とは、市が目指す理想や目標、まちづくりへの決意などを明らかにするもの…。この宣言が、本市への誇りや新たな創造性を高め、将来にわたって継承されていくことを願います。「森林文化都市宣言全文」飯能市は、首都圏にあって奥武蔵の豊かな自然に恵まれたまちであり、その歴史・文化、人々の情感は、森林とともに育まれてきました。／人々が森林とのふれあいを通じて心身ともに森林の恵みを楽しみ、環境との調和や資源の循環利用を生活の中で生かしていくことが求められる時代において、本市では、森林資源を活用し、新たな森林文化の創造により、心豊かな人づくりと、活力のあるまちづくりを推進します。／ここに森林と人とのより豊かな関係を築きつつ、自然と都市機能とが調和するまちの創造をめざし、「森林文化都市」を宣言します。／平成 17 年 4 月 1 日

自然等を材料として理想を実現していく人々の活動によって心を豊かにする学問や芸術を育み、自然やそれを利用する技術によって私達は生活を豊かにしてきました。「文化」とは過去から現在への生活そのものであり、森林との触れ合い、その恵みを活かした生活を過去から現在、未来へ伝えていく都市がすなわち「森林文化都市」という事になります。

ENH は「緑と清流にはぐくまれた自然や環境を守り、育てていくために、『できることからはじめよう』をスローガンに、市民、事業者、民間団体及び市が相互に協力して活動していく集まり」として設立されました。私はその設立準備から準備副委員長を仰せつかり、H 15 年 11 月、市民会館での設立総会で副会長に任命され、栗原会長の補佐をしておりましたが、H 18 年度に会長に任命されました。

ENH は「自然や動植物を守りたい、街をきれいにしたい、環境問題について勉強したい、ごみ減量やリサイクルを進めたい、その他、身近な環境について考えている人や頑張っている人たちに出会える場所」です。飯能市環境基本計画に位置付けられており、市民・事業者・市の協働による取り組みが効果的に実施される事が目的に設定され、各主体がそ



れぞれの立場で、また、相互に連携・協働を図りながら役割を果たしていたための、ENH は中心の組織です。市民の皆さんに興味関心のある部会に所属して頂き、実践的な活動をして頂くために、分野別の部会活動、全員の交流、情報交換会等を行っています。

組織は以下の 3 つの部会と 2 つのプロジェクトで構成されています。

1) 自然環境部会: 自然観察、2) 生活環境部会: 緑のカーテン/まちなか清掃/エコライフ、3) 地球環境部会: 再生可能エネルギー、温暖化防止プロジェクト 1) 天覧山谷津田の里づくりプロジェクト 2) 放射能関連

「天覧山谷津田の里づくり」天覧山周辺の谷津田はかつて名勝として素晴らしい環境を生み出していました。田んぼや雑木が生活の中で活用される事で多様な生物の生息拠点となっていたのですが、人の手が入らなくなってからは、地面も乾燥し草が鬱蒼としていました。H19 年 4 月、谷津田の再生活用事業がスタート。同年 11 月「第 1 回里山復活祭」を開催。作業を楽しく体験して頂くため、お楽しみの企画として、野外コンサート、懐かしい茶菓子や秋の味覚も味わいました。H 21 年度から稲作を実施。初年度を除いて毎年収穫しています。25 年度 109 kg (最大)、28 年度 23 kg (最小)。昨年度 31 kg。化学肥料や農薬を使用しないため天候等で左右されます。稲が育ち始めたかと思うとシカに捕食され、田植えをやり直した事もありました。イナゴ等の害虫から稲を守りシカやイノシシの被害を防ぎ、如何にしてお米を収穫して来たのか。昔の人々の苦勞を感じました。このプロジェクトを通して整備を行っている関係で、「天覧山・多峯主山」は H 27 年 12 月、(環境省)生物多様性保全上重要な里地里山 500 か所に選定。「里地里山に特徴的な動植物が生息・生育」「良好な水辺環境と水田・湿地環境が保全・再生されている」事が選定理由となりました。喜ばしい限りでございます。

最近の自然災害を振り返ると、毎年のように大雨による被害が発生。H 26 年度の広島北部の洪水、H 27 年度の鬼怒川の氾濫は記憶に新しいものです。今年 7 月には全国の観測地点で 35 度を超える猛暑が多く観測され、熊谷では 41.1 度を記録しました。毎年のように起こる災害からどのように身を守り、対処すべきか。日頃から防災に心掛け、いざという時のために準備しておく事が第一と感じています。

ENH は発足時から、総会終了時に『デイ・アフター・トゥモロー』等の上映や講演等のイベントを行っていましたが、H 27 年度からは総会とイベントを別々に実施する事となりました。第 1 回「環境フェスタ 2015」(飯能市民会館)では、市民団体・企業の掲示コーナーを設け、各組織の紹介を行った他、木工教室、エコドライブシミュレーター、化学実験教室、ゴーヤの苗の配布等を実施、来場者は 850 人となりました。大ホールでは幼稚園児の発表、中学生の吹奏楽演奏、また、当時全米で準優勝した飯能高校によるダンスパフォーマンスは華麗で圧巻でした。飯能河原や谷津田の自然観察の後、ピザを食べるエコツアーも実施しました。2 年目からは会場を「市民活動センター」(丸広 7 階)に移し、今年 6/9 には 4 回目「環境フェスタ 2018」を ENH と飯能市で共催、961 名の来場者で賑わいました。この催しを機に環境について改めて考え、理解が深まる事を期待しています。次世代を育成し、環境保全が引き継がれていく活動を支援する…小さな活動ではありますが、飯能市の環境を少しでも良くしていきたいと願っております。